

図書館で生き方情報

8月から町立図書館の一角に「闘病記文庫」の書棚が置かれています。誰もがいつか必要になる、病気に関する情報に気軽に触れることができる「闘病記文庫」について紹介します。



約30の具体的な病名ごとに分類されている闘病記文庫

図書館に設置された闘病記文庫には、約260冊の様々な人の治療の体験を記した闘病記が並べられています。

アルツハイマーや脳卒中、胃がんなどの病名ごとに分類され、知りたい病気の本を簡単に手に取ることが出来ます。闘病記は患者や家族の体験や治療の経過、病気に向き合う心が易しい言葉で書かれており、同じ病気を抱える人にとって貴重な情報源になると共に、心の支えにもなります。

また、児童書コーナーには子ども向けの闘病記文庫と共に、「心・体・命」について考えるコーナーもあり、生きる力の育成にも取り組んでいます。今回は「誕生」をテーマにした絵本や児童書が置かれています。



健康情報棚プロジェクト代表
石井保志さん（闘病記文庫前で）

11月30日、図書館を視察に訪れた、健康情報棚プロジェクト代表の石井保志さんに図書館の取り組みについてお話を伺いました。

南部町立図書館の取り組みは大変素晴らしいと思いました。児童向けのコーナーを定期的に入れ替るといふ発想は、図書館に動きが感じられます。

闘病記は、治療の経過や社会復帰などの情報を流れに沿って得ることができ、病気と向き合う先輩の生き方を知ることができます。患者の心の支えにもなります。健康な方には関係ないと思ってしまうがちですが、今は3人に1人ががんで亡くなる時代。健康な人も患者予備軍であり、家族が闘病していると

いつでも、どこでも、誰でも
必要な情報を得られる
図書館に

■石井保志さん
健康情報棚プロジェクト代表。闘病記の収集、寄贈を行い、公立図書館に闘病記文庫の設置を進める。東京医科歯科大学付属図書館情報サービス係長。

という方も多くいます。情報を必要としている人は必ずいます。分類を工夫することで、知りたいと思う人が簡単に情報を手に取れる環境を提供することができ、図書館がいざという時に情報の糸口となつて、医療・福祉などその先のニーズへナビゲーションする機能を持つことができます。私たちは税金によって図書館の情報提供サービスを受ける権利を持っています。図書館はただ多くの本が置かれているのではなく、必要な情報、本が易しく、多くあることが大切です。

こんにちは! 南部町立図書館です

おはなし・ドン

ふゆのおはなし会
がありました



大迫力のオオカミにドキドキ!でも無事赤ずきんちゃんとおばあさんは助けられ一安心。



11月9日(土)に行われた公演は、人形劇「あかずきんちゃん」の他、ドレミのうた、ハンドベル演奏、絵本の読み聞かせ、エプロンシアター、パネル・シアターがあり、訪れた子どもたちは皆大喜びでした。



新しく入った本

~ご紹介はほんの一部です~

小説



『中原の虹 第二巻』
浅田 次郎

西太后がついに崩御。中国の歴史に一つの幕が降りた。壮大な中国大陸の歴史小説、第二巻。

- 『雨を見たか』
- 『還らざる道』
- 『Kの日々』
- 『中庭の出来事』
- 『薄闇シルエット』
- 『モノレールねこ』
- 『螺鈿迷宮』
- 『Run!Run!Run!』
- 『軍師の死にざま』
- 『亡者の鐘』
- 『春の魔法のおすそわけ』
- 『華の棺』
- 『鬼に喰われた女』
- 『使命と魂のリミット』
- 『北前船の事件』(はやぶさ新八御用旅)
- 『藤沢周平 未刊行初期短篇集』
- 『恋愛王国 オデパン』
- 『風は山河より』(第一・二巻)
- 『馬琴の嫁』
- 『心の宝箱にしまう15のファンタジー』

- 宇江佐真理
- 内田 康夫
- 大沢 在昌
- 恩田 陸
- 角田 光代
- 加納 朋子
- 海藤 尊
- 桂 望実
- 末國善己 編
- 高橋 義夫
- 西沢 保彦
- 西村京太郎
- 坂東真砂子
- 東野 圭吾
- 平岩 弓枝
- 藤沢 周平
- 藤本ひとみ
- 宮城谷昌光
- 群 ようこ
- ジョン・エイキン

その他文学

- 『世界は村上春樹をどう読むか』
- 『お手本なしの人生』
- 『詩集 一人のために』
- 『生きる歓び』
- 『ひさしぶりのバッハ』
- 『大和魂』
- 『見えない誰かと』
- 『ライオンと蜘蛛の巣』
- 『老後は夫婦の壁のぼり』
- 『ガン日記』
- 『おせい&カモカの昭和愛惜』

- 柴田元幸 編
- 木藤 亜也
- 安積 得也
- 中森じゅあん
- 清岡 卓行
- 赤瀬川原平
- 瀬尾まいこ
- 手嶋 龍一
- ねじめ正一
- 中野 孝次
- 田辺 聖子

2月の休館日
5・11・12・19・26・28

その他

- 『愛国の作法』 姜 尚中
- 『興亡の世界史06 イサム帝国のジハード』 小杉 泰
- 『60歳からのシンプル満足生活』 三津田富左子
- 『定年後のただならぬオジサン』 足立 紀尚
- 『米子の民話散歩』 川上 迪彦
- 『江戸の繁盛しぐさ』 越川 禮子
- 『宇宙ロマン』 NHK科学環境番組部 編
- 『野の花の入院案内』 徳永 進
- 『手縫いのきほん おさらい帖』 後藤三枝子
- 『春夏秋冬 ほしかつたのはこんな味 土井家のおいしいもん』 土井 善晴
- 『裏ワザCookingカンタンレシピブック4』 土井 善晴
- 『ママがちょっと自慢のフルーツカッティング』 沢野 賢治
- 『元気なまちのスゴイしかけ』 佐々木陽一 編
- 『菊づくり なんでも相談室』 上村 達

『花おりおり その五』
湯浅 浩史

月毎に咲く花々をシンプルな文で美しい写真とともに紹介。日本人の、花を愛で自然を楽しむ心があふれる一冊。

児童書

- 『戦国武将がわかる絵辞典』 山村 竜也
- 『うみのほん たべものリレー』 まつざわせいじ
- 『おくむらあやお ふるさとの伝承料理』(1~13) 奥村 彪生
- 『アガニスタ 山の学校の子どもたち』 長倉 洋海
- 『獣の奏者』(I・II) 上橋菜穂子
- 『たそかれ』 朽木 洋
- 『西遊記』(5) 齊藤 洋・文 (呉 承恩・作)
- 『衣世梨の魔法帳 魔法犬花丸のひみつ』 那須 正幹
- 『ステーションの奥の奥』 山口 雅也
- 『ランプの精(ジン)』(3) P. B. カー

絵本

『もりのてがみ』
片山 令子

さむいさむい冬のあいだ、ひろこさんは森のことりやリスさんたちに手紙をかきました。みんな読んでくれるかな…。

- 『へんしんコンサート』 あきやまただし
- 『ねぎぼうずのあさたろう その6』 飯野 和好
- 『ともだちおまじない』 内田麟太郎
- 『せんべせんべやけた』(わらべうたえほん) しばやしえみこ
- 『さととびつき』(こどものとも年中向き) 武田正 再話
- 『オリビア バンドをくむ』 イアン・ファルコナー